10　広島サミット県民会議実施事業

(1)　カウントダウンボードの製作　　【資料２】49・50 ページ

サミットの開催周知を図るとともに、地元の歓迎機運を高めることを目的として、サミット開催までのカウントダウンを行う「カウントダウンボード」の製作・設置を行った。カウントダウンボードは、広島県立宮島工業高等学校の生徒により製作され、令和４年 12 月 18 日には開催 150 日前に合わせて、宮島口旅客ターミナル広場で除幕式を開催した。同校吹奏楽部の演奏により開会した除幕式では、市長、校長、生徒代表者、はつらつはっちゃんにより除幕が行われ、150 日からサミット開催まで時を刻んだ。

宮島口旅客ターミナル広場での除幕式

カウントダウンボード

(2)　「国際舞台で活躍する外交官と話そう！サミット塾」の実施　【資料２】53 ページ

外務省及び広島サミット県民会議の共催により、県内の中高、中等及び高専計 23 校で「サミット塾」が開催された。

本市では、令和５年１月 19 日に山陽女学園中等部・高等部、同月 20 日に大野東中学校で開催され、外務省職員から、Ｇ７サミットの開催意義や歴史、外交官の仕事や役割などについて学んだ。講演後には希望者を対象に座談会が実施され、生徒からは、「Ｇ７サミットが被爆地広島で開催されることを誇りに思う」、「世界・日本の未来のために、自分自身何ができるのかを考える良いきっかけとなった」などの声が挙がった。

山陽女学園中等部・高等部での講演

大野東中学校での座談会

(3)　ラッピング電車の制作　　【資料２】54 ページ

山陽女学園中等部・高等部の生徒たちが、交通事業者等の協力のもと、県内を運行する路面電車のラッピングデザインに取り組んだ。令和５年２月３日に広電西広島駅１番線ホームにて開催されたお披露目式（出発式）では、制作に携わった県内６校の高校生が路面電車の出発を見守った。

ラッピング電車のお披露目式（出発式）

(4)　Ｇ７広島サミットオリジナルガーデンピックの設置

広島サミット県民会議ロゴを使用した「Ｇ７広島サミットオリジナルガーデンピック」の設置を行った。ガーデンピックは県産木材で製作されており、設置者が手書きでメッセージを書き込むことができる。本市では、公園、保育園、小中学校、児童養護施設、観光施設、市民センター等に計 200 個のガーデンピックを設置し、市民等の歓迎機運醸成及び参加者意識向上を図った。

地域に設置されたガーデンピック
（大野９区集会所）

保育園に設置されたガーデンピック
（深江保育園）

(5) ゆめタウン廿日市でのパネル展示

令和５年４月１日から９日までの間、ゆめタウン廿日市においてＧ７広島サミットに向けた高校生等の取組を紹介するパネル展を開催した。展示した計 22 枚のパネルには、カウントダウンボードやラッピング電車等の製作に携わった生徒の感想や作品のポイント等について詳しく掲載されており、取組に携わった若者の活躍を、多くの人に知ってもらう機会となった。

ゆめタウン廿日市での展示

展示パネル一例
（画像：広島サミット県民会議ＨＰから引用）

(6)　県民会議期間限定ショップ「ＵＣＨＩＲＡ」への出展

令和５年３月 31 日にオープンした旧広島市民球場跡地「ＳＨＩＭＩＮＴ　ＨＩＲＯＳＨＩＭＡ」において、県民会議期間限定ショップ「ＵＣＨＩＲＡ」が開設された。ＵＣＨＩＲＡでは、県内市町の特産品販売やＰＲ動画等の放映等により広島県の魅力が広く発信された。

本市からは、令和５年４月 28 日から 30 日までの間「宮島口みらい協議会」が出展し、ジェラートやもみじ饅頭等の販売を通じて廿日市市の魅力を広くＰＲした。

宮島口みらい協議会による出展

出品された市の特産品

(7)　国際メディアセンター（ＩＭＣ）での展示

令和５年５月 18 日、外務省はＧ７広島サミットを取材する報道機関の取材拠点として「国際メディアセンター（ＩＭＣ）」を開設した。広島サミット県民会議は同センター内に「広島情報センター」を設け、「広島の食と酒」、「被爆・復興・未来へ」、「広島の環境」など広島の歴史や魅力についての展示を行った。メディア関係者のワーキングスペース周辺には、市町ごとの展示スペース「広島 23 市町ＰＲコーナー」が設けられ、本市も産業、観光などについての展示を行った。

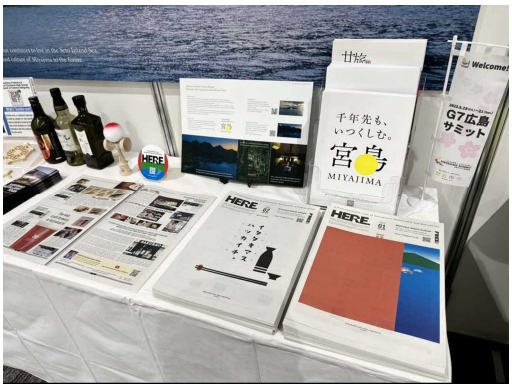
広島 23 市町ＰＲコーナーにおける本市の展示

■「広島 23 市町ＰＲコーナー」本市の展示

内容	作者・事業者	紹介
宮島彫り	大谷武	江戸時代の終わり頃から伝わる、木の素地を生かした彫刻。主に、鳥居や鹿など宮島の風景や、花が施されている。
杓子	倉本杓子工場	修行僧の誓真が宮島の土産物として考え、伝えたとされている。材質の選び方と技術の巧妙さなどの品質の良さで日本一の生産量を誇る。
大鳥居模型	大石雅子	主柱の自然木を忠実に再現するなど、実物の縮尺寸法により制作されている。
けん玉アート	永谷早登	廿日市市発祥のけん玉に伝統工芸である宮島彫りを施し、銀杏を表現した作品である。
Ｇ７広島サミット特別仕様けん玉	株式会社イワタ木工	けん玉発祥の地廿日市市の地元木工業者が製造したＧ７広島サミット開催を記念したけん玉
宮島焼き（御砂焼）	川原嚴栄堂	明治 42(1909)年創業、広島県伝統的工芸品に指定された宮島焼。落ち着いた色合いの日常使いの器が多い。
	対厳堂	旅のお守りとした嚴島神社の「御砂」を祈祷していただき粘土に混ぜて焼いた陶器
	川原圭斎窯	宮島の砂を粘土に混ぜて焼いた宮島伝統の焼き物。工房では陶芸を体験することもできる。
宮島土鈴	越智陶芸	粘土が材料の鈴で、音色によって神を招き、悪魔を祓うものとして、庶民の間で愛されていた。
「千年先も、いつくしむ」プロジェクトパネル	廿日市市	宮島を持続可能な観光地域として、守り伝え、観光客の回復と地域経済の活性化を図ることを目的とするプロジェクトである「千年先も、いつくしむ。」プロジェクトをメディアセンターでＰＲするために作成した大型パネル。

(8)　歓迎レセプションでの展示

令和５年５月 18 日、広島サミット県民会議は広島市東区の広島コンベンションホールで、来広する各国政府関係者たちを歓迎するレセプションを開催した。会場には市町ＰＲブースが設けられ、本市は特産品の展示や観光パンフレットの配架等により市の魅力を各国政府関係者たちに広くＰＲした。同レセプションには松本太郎市長も出席し、特産品の紹介等を通じて来場者に市の魅力を発信した。



市町ＰＲブースにおける本市の展示

■「歓迎レセプション」本市の展示

内容	作者・事業者	紹介
「千年先も、いつくしむ。」プロジェクトメディアキット	廿日市市	「千年先も、いつくしむ。」プロジェクトを紹介するためのメディアキット。ＱＲコードから特設ページとプロジェクト動画にアクセスすることができる。
「千年先も、いつくしむ。」プロジェクトパネル	廿日市市	「千年先も、いつくしむ。」プロジェクトを歓迎レセプションでＰＲするために作成した。
タブロイド誌 ＨＥＲＥ. Ｍａｇａｚｉｎｅ	廿日市市	サミットを契機に世界へ廿日市市をＰＲするとともに、その後の本市内におけるインバウンド流入増加に備え、廿日市市の「食」「やすらぎ（休息）」「体験」の観点から市内全域の機運醸成、事業者の紹介を目的とした、インバウンド向けタブロイド誌。 ＱＲコードから特設ページにアクセスできる。
Ｇ７広島サミットオリジナルけん玉	株式会社イワタ木工	けん玉発祥の地広島県廿日市市の地元木工業者が製造したサミット開催を記念したけん玉
シングルモルトジャパニーズウィスキー サクラオ ジン リミテッド 達磨芋焼酎	株式会社サクラオブルワリーアンドディスティラリー	広島県産原料を使った初の純国産ジンや広島初のシングルモルトウィスキーの生産を行っている廿日市市内の蒸留所のお酒

宮島組子	広島県立宮島工業高等学校	宮島の対岸にある広島県立宮島工業高等学校インテリア課の生徒が発案した組子細工 組子細工は釘や接着剤を使用せずに幾何学的な文様を組み付ける木工技術であり、0.1㎜のズレでも組み付けできなくなるため、高い精度が必要になる。
杓子	宮島細工協同組合	宮島で生産される木工芸品などを総称して宮島細工といい、杓子、ろくろ細工、宮島彫りなどが制作されている。 江戸時代後期、嚴島神社をはじめとする寺社建設のために鎌倉・京都から招かれた宮大工などから伝わった。 広島の豊富な森林資源や、木材の集積地である廿日市に近いこともその要因といわれている。 杓子は、材質の選び方と技術の巧妙さ、琵琶を模した形の優しさに加え、臭気がなく飯粒がつきにくいと言われ、品質の良さで日本一の生産量を誇っている。 宮島彫りは、栃や欅、桜が用いられ、ろくろ成形による盆や菓子器に、嚴島神社の風景や鹿、花などの彫りを施している。
宮島彫りお盆		